

Members

ペリン・グレース

Perrin Grace

1989年ミシガン州アナーバー出身。現在はニューヨーク州マンハッタン在住。
2013年ノーステキサス大学で音楽での学士号、2016年にはマンハッタン音楽院で修士号を取得するなど、ジャズを知的に追及してきた。

2013年からAddison Frei(Pf) Matt Young(Ds)とともに「AMP TRIO」を結成。最新アルバム「Three」は2017年ピアノ・トリオベストテンにランクインするなど、大きな注目を集めた。また、ワシントンDCジャズフェスティバル2017では見事優勝を果たした。

ジャズスクールの子どもたちを対象にしたワークショップにも参加するなど、ジャズの普及活動にも熱心に取り組んでおり、昨年6月には当市を訪れ、「What's Jazz?」コンサートと、小学生を対象としたワークショップを行った。

うえさか ゆうま

上坂 悠真

1991年イギリス ロンドン生まれ。8歳で渡米、ミシガン州デトロイトで育つ。10歳でサックスを始め、ミドルスクールで本場のジャズに出会い、魅了される。ハイスクール在籍中にはパークリー音楽院のサマープログラムに参加。また、デトロイトのシビックジャズバンドにも所属し、ロドニー・ウィティカーをはじめ、プロの指導を受ける。

ミシガン大学ではコンピューターサイエンスとジャズサックスをダブルメジャーで専攻。大学卒業後はGoogleでエンジニアをしていたが、ジャズへの熱い思いを捨てきれず退社。

2015年ニューヨークで音楽活動を開始、同年1stアルバム「Spear and Shield」をリリース、現在に至る。

おかべ ともゆき

岡部 朋幸

1983年、東京都葛飾区生まれ。15歳の時に、故日野元彦氏の演奏を聴きジャズに目覚め、早稲田大学入学後、モダンジャズ研究会に所属し本格的にジャズドラムを演奏し始める。

2008年1月にベーシストのRodney Whitakerの誘いでミシガン州立大学音楽学部ジャズ課程に留学。ジャズキャンプやジャズ教育プログラムの講師なども務めた。

卒業後短期間ニューヨークに移り住み、2010年2月に帰国。東京を拠点に国際的に活躍している。昨年12月に当市で開催された「Evening of Jazz」にも、ベン・ジャンソンカルテットとして参加している。

まつばら よしふみ

松原 慶史

1985年、静岡県三島市出身。3歳でバイオリンを始め、14歳でエレキギターを手にする。高校を卒業後、渡米。2006年よりノーステキサス州立大学でジャズギターを専攻。在学中、テキサス州ダラスを中心に演奏活動を展開。2011年に帰国。

2016年8月ギブソンジャズギターコンテストにて最優秀賞を受賞。同年9月横浜のジャズコンテスト「ちぐさ賞」に出演、優勝する。

2018年10月エレックレコードより1stアルバム「Angel's Share」をリリース。

現在二社とエンドースメント契約を結び、「Kigoshi Custom Guitars」からはKT-001 AJ(テレキャスターシンライン)、「Ryosuke Kobayashi Guitars」からNylon Crossover Electric(ナイロン弦ギター)の提供を受けている。

What's Jazz? Project

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、当市のホストタウン相手国である米国への理解を深めるとともに、「誰もが気軽に楽しむことのできるジャズ」をテーマに、2018年6月「What's Jazz?」を初開催。同年12月には「Evening of Jazz」を開催しました。

オリンピックイヤーとなる来年4月には、本プロジェクトの集大成として、米国で活躍する若手ジャズバンド「AMP TRIO (アンプトリオ)」によるコンサートを予定しています。